

このことについて、下記のとおり「麦作情報（第7号）臨時号」について送付しますので、業務の参考にしてください。

令和7年産麦作情報（第7号）臨時号

本年は、生育期間中の低温・乾燥で、出穂が平年より10日程度遅れており、大麦の収穫は一部地区では始まっているものの、5月下旬頃を中心に始まる見込みである。

（現在の生育ステージ：大麦 黄熟期頃、小麦 乳熟期頃）

そのような中で、週間天気予報では5/16から曇雨天が続く見込みとなっており、1か月予報でも降水量は「平年並か多い」と予想されている。また、本日気象庁から「九州南部が梅雨入りしたとみられる」と発表されたことから、九州北部も5月の梅雨入りとなる可能性もあるため、収穫に当たっては以下に留意する。

【対 策】

1) 収穫前

- (1) 圃場内に滞水している場合には、排水口だけでなく、枕地溝との接続部を整備し、地表水の早期排水を促す。また、有材暗渠の水甲（コルゲート管の栓）を外し、土壌中（地下）からの早期排水促進に努める。
- (2) 地域的な話し合いにより樋門の調節等を行い、クリークの水位を下げるなど排水能力の向上を図る。
- (3) 成熟期前後の麦の穀粒水分は、小麦で2%/日、大麦で3%/日程度低下する。そのことをふまえて、穀粒水分25%以下となる時期を予測し、適期収穫に努める。なお、降雨後は、低下した水分が一時的に上昇するため、収穫に当たっては注意する。

（収穫時期の子実水分の目安）

麦種	始期	適期	晩期
小麦・大粒大麦	30%以下	25%	20%
ビール大麦	-	25%以下	20%

2) 収穫・荷受け

- (1) 成熟期後に降雨が予想される場合は、収穫適期より2日程度早く収穫し、降雨後の品質劣化を防止する。この場合、収穫時のこぎ胴回転数や作業速度を落として、子実に機械的損傷が出ないように注意する。
また、収穫後は放置せず4時間以内に乾燥調製施設へ搬入し、フレコン内での品質の劣化を防止する。
- (2) 高水分麦の長時間の放置は品質劣化に加え、赤かび病の進展・DON（デオキシニバレノール）の増加、小麦では低アミロ化の恐れもあるので特に注意する。
- (3) 倒伏や病害、穂発芽等が発生している圃場は、区分荷受けを（別処理）実施し、全体の品質低下を防止する。特に、倒伏圃場などでの赤かび病の発生には十分に注意する。
- (4) 収穫は、降雨の合間をぬって行うが、短期間で収穫できる体制（オペレータの確保やコンバイン等の準備）を整え、乾燥能力に見合った収穫と、収穫後の乾燥作業への速やかな移行により品質の低下を防止する（高水分麦の常温通風は品質の低下が進む）。
- (5) 乾燥作業は、徐々に加温し穀温40℃以下で乾燥するように努める。特に、急激な乾燥は品質低下（発芽勢低下・加工適性の低下・熱損粒）を招くので行わない。

- (6) ビール大麦では、成熟期後に降雨に遭遇した期間や、検見等による外観品質を勘案し、区分荷受け（別処理）を行い、品質の確保を図る。

※種子の場合は、出芽・発芽率への影響を加味し、以下の点に留意する。

(1) 適期刈り取りの実施

- ① 種子の刈取適期は、成熟期より遅く(大麦で4～5日、小麦で3～4日)、穀粒水分は25%以下とする。高水分の麦をコンバインで収穫すると、剥皮や裂皮が増えたり、胚が傷つくことで発芽力が低下する。
- ② 収穫時のコンバインは、低速回転により回転数を少なくする。
(回転数 450rpm 以下、高水分の場合は回転数 400rpm、作業速度 0.6m/s 以下)

(2) 適切な乾燥と調製の実施

- ① 収穫後4時間以上貯留すると発芽率が低下するため、速やかに乾燥する。やむを得ず、30%以上の高水分麦を刈り取った場合は、2～3時間以内とする。
- ② やむを得ず高水分麦を刈り取った場合は、常温通風による予備乾燥を行い、粒表面の水分を取り、加温通風に切り替える。また、乾燥後はすみやかに冷蔵施設へ移動し保管する。
- ③ 送風温度は45℃以下(穀温40℃以下)、乾燥率は毎時0.8%以下とする。
- ④ 仕上げ水分は、小麦12.5%以下、大麦13.0%以下とする。
梅雨期は、水分が戻りやすいため、やや低めに仕上げ、低湿度のところに保管する。

【参考】

○九州北部地域における5月入梅年のまとめ（1951年～）

九州北部			
年	入り	明け	梅雨時期の降水量平年比 (佐賀)(%)
1953年	5月28日ごろ	7月20日ごろ	185.0
1954年	5月13日ごろ	8月 1日ごろ	173.0
1956年	5月21日ごろ	7月22日ごろ	88.0
1960年	5月24日ごろ	7月11日ごろ	57.0
1963年	5月30日ごろ	7月13日ごろ	99.0
1990年	5月30日ごろ	7月18日ごろ	94.0
1991年	5月19日ごろ	7月19日ごろ	135.0
1993年	5月29日ごろ	—	158.0
2000年	5月26日ごろ	7月17日ごろ	73.0
2001年	5月21日ごろ	7月19日ごろ	110.0
2004年	5月29日ごろ	7月11日ごろ	47.0
2008年	5月28日ごろ	7月 6日ごろ	84.0
2011年	5月21日ごろ	7月 8日ごろ	119.0
2012年	5月30日ごろ	7月23日ごろ	138.0
2013年	5月27日ごろ	7月8日ごろ	72.0
2021年	5月11日ごろ	7月13日ごろ	82.7
2023年	5月29日ごろ	7月25日ごろ	165.8
平均	5月24日ごろ	7月16日ごろ	110.6
平年	6月4日ごろ	7月19日ごろ	

○5月以降の入梅割合：23.0%

○おしなべて見ると、梅雨明けは若干早い程度。

○梅雨期間の降水量はほぼ平年並み。

令和7年産 麦刈取り開始時期予想積算気温表（5月15日現在）

月	日	品 種		はるか二条 サチホゴールド					シロガネコムギ・チクゴイズミ はる風ふわり・さちかおり				
				4月4日	4月7日	4月10日	4月13日	4月17日	4月10日	4月12日	4月15日	4月18日	4月21日
		出穂期		出穂	出穂	出穂	出穂	出穂	出穂	出穂	出穂	出穂	出穂
		平年値	本年値										
4	4	13.0	11.4	出穂日									
	5	13.2	13.3	13									
	6	13.4	14.1	27									
	7	13.6	13.7	41	出穂日								
	8	13.8	16.3	57	16								
	9	14.0	17.0	74	33								
	10	14.2	18.0	92	51	出穂日			出穂日				
	11	14.3	16.1	109	67	16			16				
	12	14.5	14.4	123	82	31			31	出穂日			
	13	14.6	13.2	136	95	44	出穂日		44	13			
	14	14.8	11.7	148	107	55	12		55	25			
	15	14.9	11.3	159	118	67	23		67	36	出穂日		
	16	15.1	14.6	174	133	81	38		81	51	15		
	17	15.2	19.6	193	152	101	57	出穂日	101	70	34		
	18	15.4	21.0	214	173	122	78	21	122	91	55	出穂日	
	19	15.5	21.3	236	195	143	100	42	143	113	77	21	
	20	15.7	19.5	255	214	163	119	62	163	132	96	41	
	21	15.9	22.1	277	236	185	141	84	185	154	118	63	出穂日
	22	16.0	19.2	296	255	204	160	103	204	174	137	82	19
	23	16.2	17.1	314	272	221	177	120	221	191	154	99	36
	24	16.4	17.0	331	289	238	194	137	238	208	171	116	53
	25	16.5	16.5	347	306	255	211	154	255	224	188	133	70
	26	16.7	16.1	363	322	271	227	170	271	240	204	149	86
	27	16.9	19.1	382	341	290	246	189	290	259	223	168	105
	28	17.1	16.8	399	358	307	263	206	307	276	240	185	122
	29	17.3	16.9	416	375	324	280	223	324	293	257	202	139
5	17	19.5		748	707	656	612	555	656	625	589	534	471
	18	19.6		768	727	675	632	574	675	645	609	553	490
	19	19.7		787	746	695	651	594	695	664	628	573	510
	20	19.8		807	766	715	671	614	715	684	648	593	530
	21	20.0		827	786	735	691	634	735	704	668	613	550
	22	20.1		847	806	755	711	654	755	724	688	633	570
	23	20.3		868	826	775	731	674	775	745	708	653	590
	24	20.4		888	847	796	752	695	796	765	729	674	611
	25	20.6		909	867	816	772	715	816	786	749	694	631
	26	20.7		929	888	837	793	736	837	806	770	715	652
	27	20.9		950	909	858	814	757	858	827	791	736	673
	28	21.0		971	930	879	835	778	879	848	812	757	694
	29	21.2		992	951	900	856	799	900	869	833	778	715
6	30	21.3		1014	973	921	878	820	921	891	855	799	736
	31	21.5		1035	994	943	899	842	943	912	876	821	758
	1	21.7		1057	1016	964	921	864	964	934	898	843	780
	2	21.8		1079	1038	986	943	885	986	956	920	864	801
	3	22.0		1101	1060	1008	965	907	1008	978	942	886	823
	4	22.1		1123	1082	1030	987	929	1030	1000	964	908	846
	5	22.3		1145	1104	1053	1009	952	1053	1022	986	931	868
	6	22.4		1167	1126	1075	1031	974	1075	1045	1008	953	890
	7	22.5		1190	1149	1098	1054	997	1098	1067	1031	976	913
	8	22.6		1213	1171	1120	1076	1019	1120	1090	1053	998	935
	9	22.7		1235	1194	1143	1099	1042	1143	1112	1076	1021	958
	10	22.8		1258	1217	1166	1122	1065	1166	1135	1099	1044	981
	11	22.9		1281	1240	1189	1145	1088	1189	1158	1122	1067	1004
	12	23.0		1304	1263	1212	1168	1111	1212	1181	1145	1090	1027
	13	23.1		1327	1286	1235	1191	1134	1235	1204	1168	1113	1050
	14	23.2		1350	1309	1258	1214	1157	1258	1227	1191	1136	1073
	15	23.3		1374	1332	1281	1237	1180	1281	1251	1214	1159	1096
	16	23.4		1397	1356	1305	1261	1204	1305	1274	1238	1183	1120
	17	23.5		1420	1379	1328	1284	1227	1328	1298	1261	1206	1143
	18	23.6		1444	1403	1352	1308	1251	1352	1321	1285	1230	1167
	19	23.7		1468	1427	1375	1332	1274	1375	1345	1309	1253	1191

麦刈取り開始時期予想積算気温

【刈り取り時期の目安】

大粒大麦・・・穂首が1/3以上がわん曲したとき
サチホゴールド・全体の穂が45～90度湾曲したとき
小麦・・・ほとんどの莖葉が退色したとき

●はるか二条 750～800℃

●サチホゴールド・・・750～850℃

●シロガネコムギ、チクゴイズミ、はる風ふわり 900～1000℃
さちかおり 950～1050℃

★積算温度は、あくまで目安であるため、実際の刈り取り日程は圃場検見等を行い計画しましょう。

★排水不良田においては、積算気温表より成熟期が早くなる可能性があります。

（品質向上対策）

1. 収穫後は速やかに乾燥し、品質の低下を防ぐ。特に、小麦では収穫後4時間以内の乾燥を心がける。
2. やむを得ず高水分で収穫する場合は、コンバインの回転数を450rpm以下で収穫する。
乾燥機の送風温度は50℃以下から始め、穀粒水分を下げながら徐々に温度を上げるようにする。